

# 未来の先生フォーラム2024 報告書



未来の先生  
フォーラム

2024.10.01

未来の先生フォーラム2024実行委員会

# 目次

- P.3 ご挨拶とお礼
- P.4-6 全体
- P.7-10 参加者属性
- P.11 参加者満足度
- P.12-16 プログラム
- P.17-18 参加者の声(アンケート抜粋)

# ご挨拶とお礼



この度は、未来の先生フォーラム2024にお力添えを誠にありがとうございました。

本年度は昨年に引き続き、オンライン・リアル両形態で「未来の先生フォーラム2024オンライン」と「未来の先生フォーラム2024リアル」として、開催いたしました。参加申込者は4,029名（オンライン：2,313名、リアル：1,716名）の参加申込者となりました。

結果としてオンライン・リアル共に、満足度の高いものとなり、日本の学校教育界に少なからず貢献することができたのではないかと考えます。関係各位に深く御礼申し上げます。

本年度の経験を活かして、次年度はオンラインとリアル双方のより一層の充実に力を注いでまいります。教育業界の方々へ更なる貢献を目指し、絶え間ない更なる挑戦によって、未来の先生フォーラムをより良いものにしていきたいと決意しています。今後とも、またお力添えのほどを何卒よろしく願いいたします。

最後に、みなさまの益々のご発展・ご活躍を願っております。

実行委員長  
宮田純也

# 1. 全体

## オンライン

### ■日程

2024年7月29日(月)ー8月2日(金)

### ■場所

オンライン

### ■総申込者数

2,313人

学校関係者(教員等)の申込者数

1,863人(含有率 80.5%)

### ■プログラム数

総プログラム数: 15

## リアル

### ■日程

2024年9月14日(土)ー15日(日)

### ■場所

桜美林大学新宿キャンパス

### ■総申込者数

1,716人

学校関係者(教員等)の申込者数

1,322人(含有率 77.0%)

### ■プログラム数

総プログラム数: 95

# 1. 全体

## ■後援

文部科学省、総務省、経済産業省

北海道教育委員会、青森県教育委員会、岩手県教育委員会、宮城県教育委員会、  
秋田県教育委員会、山形県教育委員会、栃木県教育委員会、福島県教育委員会、  
茨城県教育委員会、群馬県教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、  
東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、新潟県教育委員会、富山県教育委員会、  
石川県教育委員会、福井県教育委員会、山梨県教育委員会、長野県教育委員会、  
岐阜県教育委員会、静岡県教育委員会、愛知県教育委員会、三重県教育委員会、  
滋賀県教育委員会、京都府教育委員会、大阪府教育委員会、兵庫県教育委員会、  
奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会、鳥取県教育委員会、島根県教育委員会、  
岡山県教育委員会、広島県教育委員会、山口県教育委員会、徳島県教育委員会、  
香川県教育委員会、愛媛県教育委員会、高知県教育委員会、福岡県教育委員会、  
佐賀県教育委員会、長崎県教育委員会、熊本県教育委員会、大分県教育委員会、  
宮崎県教育委員会、鹿児島県教育委員会、沖縄県教育委員会、熊本市教育委員会

# 1. 全体

## ■協賛(順不同)

### 未来の先生フォーラム2024 オンライン

協賛



株式会社サテライトオフィス

### 未来の先生フォーラム2024 リアル

プラチナスポンサー



株式会社サテライトオフィス

シルバースポンサー

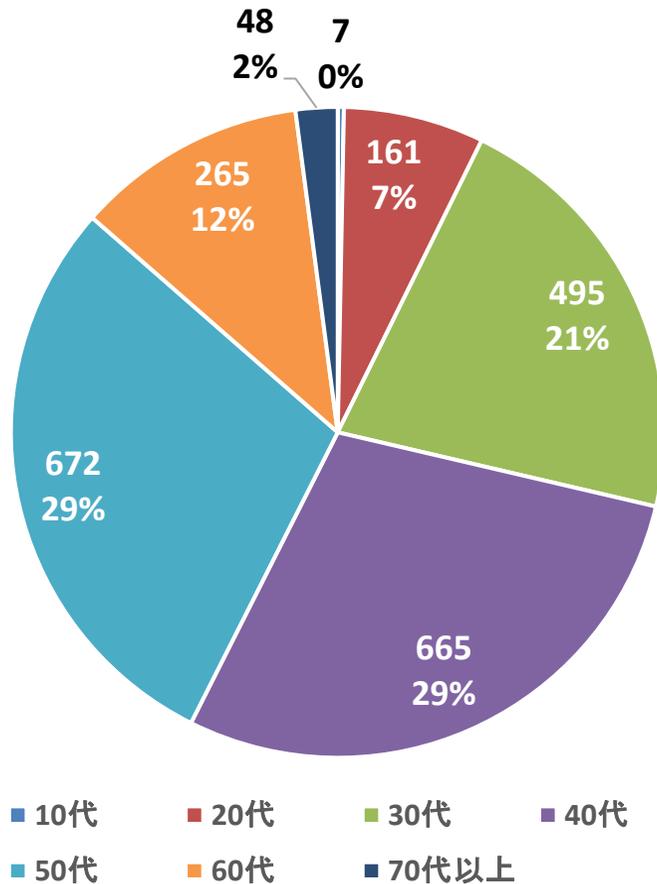


Edv Future株式会社

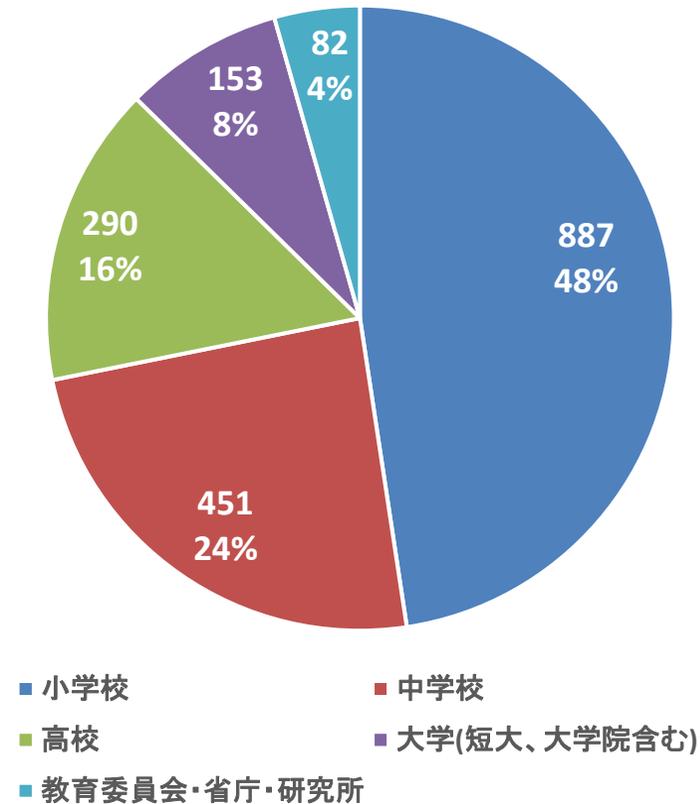
タイガーモブ株式会社、株式会社ミエタ、アルファサード株式会社、株式会社インフォザイン、on-shi-on株式会社、学校法人文化杉並学園×株式会社トータルメディア開発研究所、公益財団法人CTC未来財団、株式会社Inspire High、株式会社佑人社、株式会社エナジード、一般社団法人KURUMIRAI、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント、ソフトバンクロボティクス株式会社

# 2. 2024年度申込者（オンライン） 属性

申込者全体の  
年齢構成 (n=2,313)



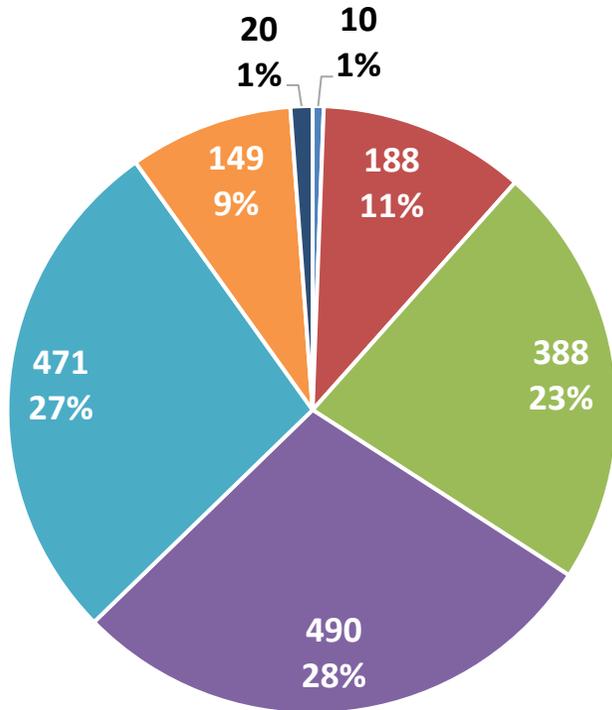
申込者(学校関係者のみ)の  
学校種別等の割合 (n=1,863)



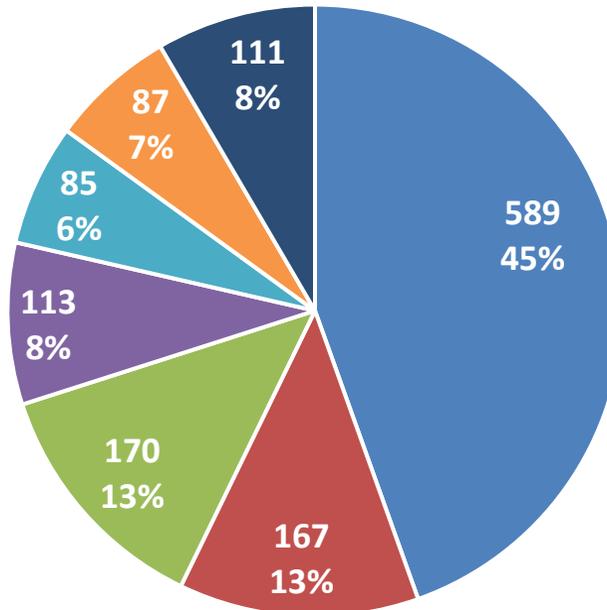
# 2. 2024年度申込者（リアル）属性



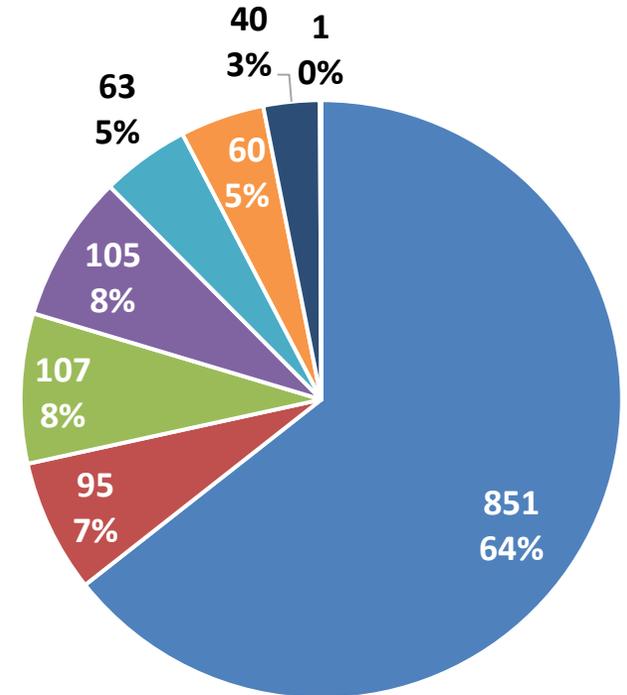
申込者全体の年齢構成 (n=1,716)



申込者(学校関係者のみ)の  
学校種別等の割合 (n=1,322)



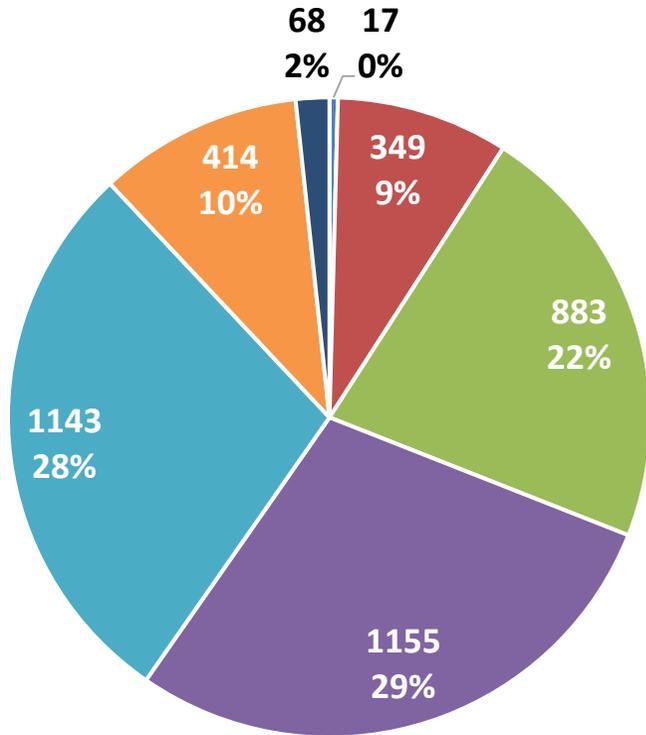
申込者(学校関係者のみ)の  
地域別割合 (n=1,322)



- |         |       |       |                |                |         |          |         |
|---------|-------|-------|----------------|----------------|---------|----------|---------|
| ■ 10代   | ■ 20代 | ■ 30代 | ■ 小学校          | ■ 中学校          | ■ 一都三県  | ■ その他関東  | ■ 中部    |
| ■ 40代   | ■ 50代 | ■ 60代 | ■ 高校           | ■ 中高一貫校・中等教育学校 | ■ 近畿    | ■ 北海道・東北 | ■ 中国・四国 |
| ■ 70代以上 |       |       | ■ 大学(短大、大学院含む) | ■ 教育委員会・省庁・研究所 | ■ 九州・沖縄 | ■ 海外     |         |
|         |       |       | ■ その他          |                |         |          |         |

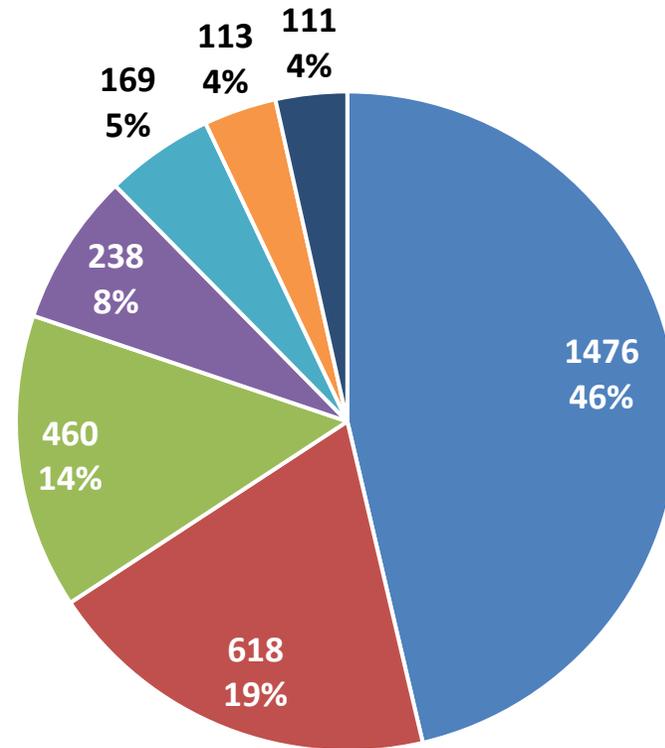
# 2. 2024年度申込者(統合版)属性

申込者全体の  
年齢構成(有効回答4,029)



- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上

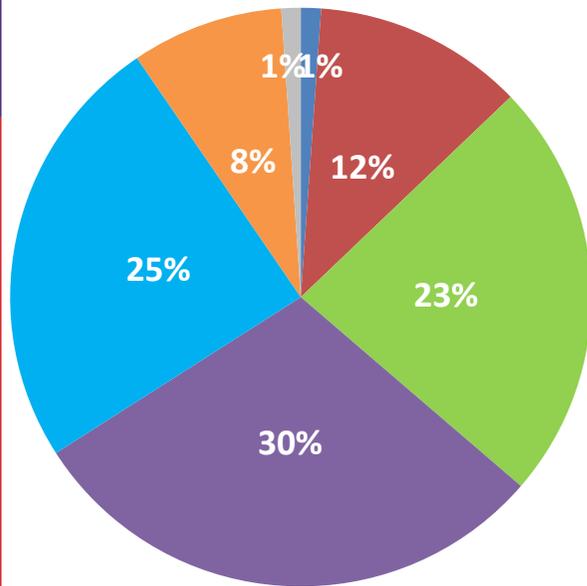
申込者(学校関係者のみ)の  
学校種別等の割合(n=3,185)



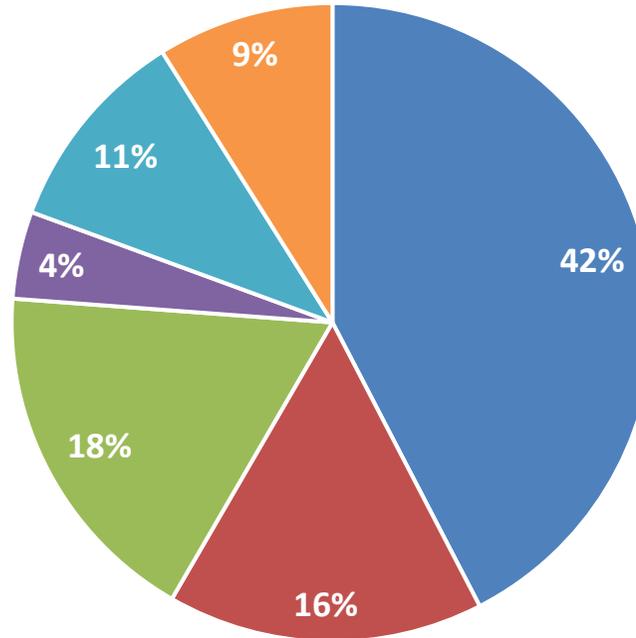
- 小学校
- 中学校
- 高校
- 大学(短大、大学院含む)
- 教育委員会・省庁・研究所
- 中高一貫校・中等教育学校
- その他

## 2. (参考)2023年度申込者(統合版)属性

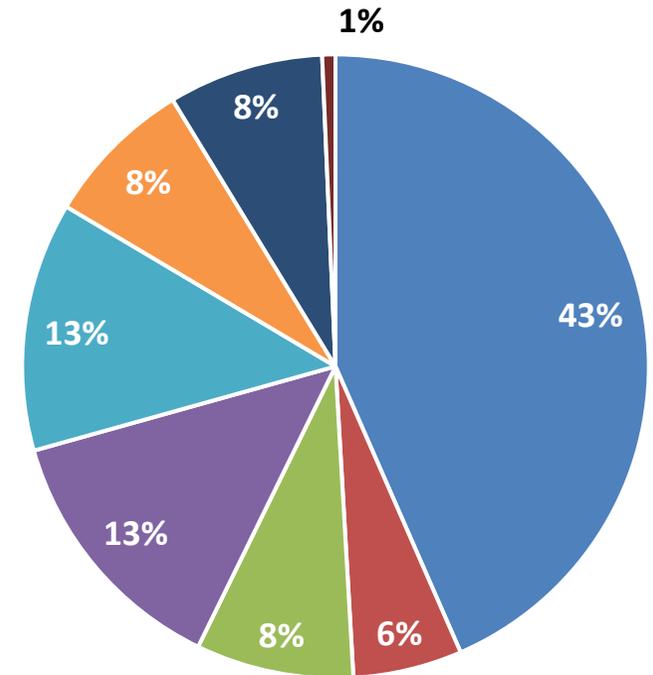
申込者の年代



参加教員の割合



地域ごとの申込者



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代  
■ 40代 ■ 50代 ■ 60代  
■ 70代以上

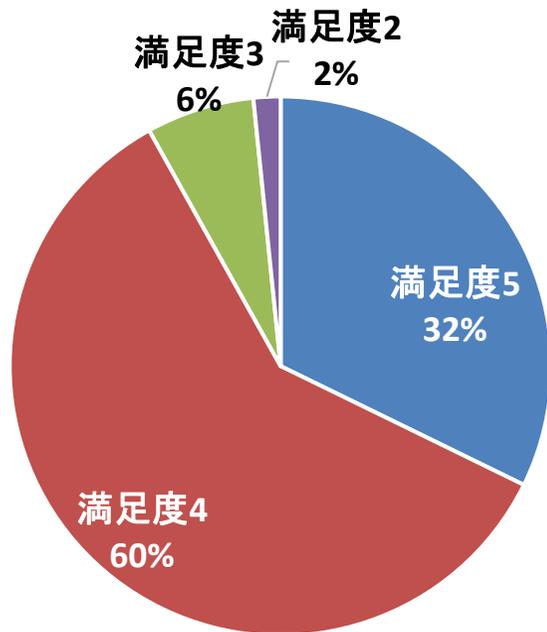
■ 小学校 ■ 中学校  
■ 高校 ■ 中高一貫校  
■ 大学 ■ 行政(教育委員会・研究所)

■ 一都三県 ■ その他関東 ■ 北海道・東北  
■ 中部 ■ 近畿 ■ 中国・四国  
■ 九州・沖縄 ■ 海外その他

## 2. 申込者満足度

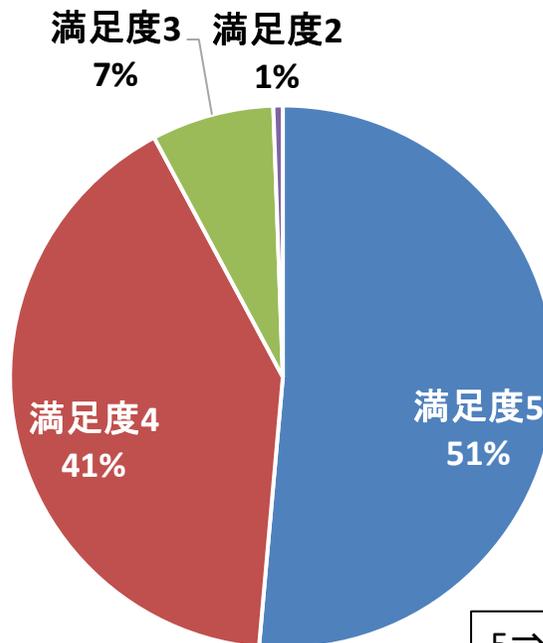
2024年度は昨年を上回り、過去の満足度と比較しても、総じて高い満足度となっています。

2024年度オンライン(有効回答62)



平均:4.23

2024年度リアル(有効回答179)



平均:4.43

5⇒最高  
1⇒最低

オンライン・リアル統合満足度:4.37

- 2024年度  
イベント評価平均:4.37
- 2023年度  
イベント評価平均:4.34
- 2022年度  
イベント評価平均:4.50
- 2021年度  
イベント評価平均:4.21
- 2020年度  
イベント評価平均:4.15
- 2019年度  
イベント評価平均:4.36

※満足度は、不参加や協賛企業と思われる方の回答を除き、純粋な一般参加者の統計となっています。

# 3. プログラム

すべてのプログラムに関しては、以下をご覧ください。

・特設サイト:

<https://mirai-sensei.info/>

・未来の先生フォーラム2024リアルパンフレット

<https://x.gd/F1cit>

# 3. プログラム(オンラインの特別招待講演)



7月29日(月) テーマ:テクノロジー×学校教育－教育活動におけるテクノロジー活用の理論と実践

テクノロジー×学校教育－教育活動におけるテクノロジー活用の理論と実践－

稲垣忠先生(東北学院大学文学部 教授・学長特別補佐)

教育現場のICTツール活用最新事例～明日からできるデバイスの保守・メンテ・管理力を上げ、先生の負担軽減～

岡裕明 様(株式会社サテライトオフィス 取締役)

教育活動×テクノロジーの可能性と実践を探る

鈴木秀樹先生(東京学芸大学附属小金井小学校 教諭)

7月30日(火) テーマ:学校づくり－これからの学校組織を創る－

組織が教師の学びを支え、教師の学びが組織を変革する

中田正弘先生(白百合女子大学人間総合学部初等教育学科教授)

教育現場のICTツール活用最新事例～明日からできるデバイスの保守・メンテ・管理力を上げ、先生の負担軽減～

岡裕明 様(株式会社サテライトオフィス 取締役)

ウェルビーイングは学校組織づくりへどのように寄与するか－理論と実践－

中島晴美 先生(埼玉県上尾市立上平小学校校長)

7月31日(水) テーマ:GIGAスクールと教育DXの未来－学校教育はNext GIGA・教育DXでどのように変化するか－

GIGAスクールと教育DXの未来－学校教育はNext GIGA・教育DXでどのように変化するか－

高橋純先生(東京学芸大学教育学部・教授)

教育現場のICTツール活用最新事例～明日からできるデバイスの保守・メンテ・管理力を上げ、先生の負担軽減～

岡裕明 様(株式会社サテライトオフィス 取締役)

デジタル時代の学びSHIFT－子供から教師までの学び変容を探る－

前田康裕先生(熊本大学特任教授)

# 3. プログラム(オンラインの特別招待講演)



8月1日(木) テーマ:「豊かな学び」を創り出すために必要なこと①ー探究学習・学習評価ー

探究的な学習を設計するー授業づくりと教材研究の要諦ー

田中博之先生(早稲田大学教職大学院教授)

教育現場のICTツール活用最新事例 ～明日からできるデバイスの保守・メンテ・管理力を上げ、先生の負担軽減～

岡裕明様(株式会社サテライトオフィス 取締役)

豊かな学びを創造する評価づくりー学習評価の本質と実践ー

石井英真先生(京都大学 大学院教育学研究科 准教授)

8月2日(金) テーマ:「豊かな学び」を創り出すために必要なこと②ー学びづくり・非認知能力ー

学びの向かう先を考えるー生成AI時代の学びづくりとは何かー

田中茂範先生(慶應義塾大学名誉教授、PEN言語教育サービス代表)

教育現場のICTツール活用最新事例 ～明日からできるデバイスの保守・メンテ・管理力を上げ、先生の負担軽減～

岡裕明様(株式会社サテライトオフィス 取締役)

子供の可能性をより高める授業創造には何が必要かー非認知能力の視点から考えるー

中山芳一先生(岡山大学准教授・All HEROs合同会社 代表)

# 3. プログラム (リアルの特別プログラム)

## 教育活動におけるテクノロジー活用の可能性と実装

稲垣忠先生(東北学院大学文学部 教授・学長特別補佐)  
鈴木秀樹先生(東京学芸大学附属小金井小学校 教諭)  
平井聡一郎先生(合同会社未来教育デザインCEO)

## 中高におけるこれからの授業づくりを考える

田中茂範先生(慶應義塾大学名誉教授、PEN言語教育サービス代表)  
池谷陽平先生(追手門学院中・高等学校／探究Driver(探究科主任))  
田中理沙先生(かえつ有明中・高等学校 教諭)  
齋藤亮次先生(公文国際学園中等部・高等部教諭)

## 小学校におけるこれからの授業づくりを考える

渡辺道治先生(教え方の学校・主宰 アメリカ・ダラス補習校学習指導アドバイザー)  
坂本良晶先生  
(Canva Japan Canva Education アジア太平洋地域マーケティング統括マネージャー)

## これからの学級経営を考える

赤坂真二先生(国立大学法人上越教育大学教授)

## 教科「情報」の未来

鹿野利春先生  
(一社)デジタル人材共創連盟代表理事・京都精華大学メディア表現学部教授)

## デジタル・シティズンシップの概念と実践

豊福晋平先生(国際大学グローバルコミュニケーションセンター主幹研究員・准教授)

## 創造的な学びを深める問いの概念と技術

塩瀬隆之先生(京都大学総合博物館准教授)

## 学びがもたらす学校組織改革の可能性

住田昌治先生(学校法人湘南学園学園長)  
中島晴美先生(埼玉県上尾市立上平小学校校長)  
前田康裕先生(熊本大学特任教授)

## 教育DXの可能性を考える

遠藤洋路先生(熊本市教育長)  
平井聡一郎先生(合同会社未来教育デザイン CEO)  
武藤久慶先生(文部科学省 初等中等教育局 教育課程課長)

## デジタル時代の学びを考える

田村学先生(文部科学省初等中等教育局 主任視学官)  
前田康裕先生(熊本大学特任教授)

## 学校教育の未来ー学びと学校教育の可能性を探るー

合田哲雄先生(文化庁次長)  
本間朋弘先生(横浜創英中学・高等学校 校長)

## 誰一人取り残すことのない学校づくり

木村泰子先生(大阪市立大空小学校初代校長)

## 金融教育の可能性と実践を考える

大河内薫様(税理士、株式会社ArtBiz代表取締役)  
宮田純也(一般社団法人 未来の先生フォーラム代表理事)

## DX・生成AI時代の英語教育を考える

田中茂範先生(慶應義塾大学名誉教授、PEN言語教育サービス代表)  
石井雄隆先生(千葉大学教育学部・大学院教育学研究科)

# 3. プログラム (リアルの招聘講演)

**人生100年時代の学校教育ー学校教育の現在・過去・未来ー**  
宮田純也(一般社団法人 未来の先生フォーラム代表理事)

**より良い授業を探究する**  
渡辺道治先生  
(教え方の学校・主宰 アメリカ・ダラス補習校学習指導アドバイザー)

**小学校におけるAIを活用したより良い教育活動を考える**  
坂本良晶先生  
(Canva Japan Canva Education  
アジア太平洋地域マーケティング統括マネージャー)

**中高においてAIを活用したより良い教育活動を考える**  
安藤昇先生(青山学院大学非常勤講師・青山学院中等部情報担当講師)

**非認知能力の可能性と学校現場での実践**  
ー日本・フィンランドでの学校現場の経験を基に考えるー  
徳留宏紀先生 (三宅町立三宅幼稚園 園長、元 ヘルシンキ国際高校 勤務)

**探究の実践から考えるラーニング・デザイン**  
池谷陽平先生(追手門学院中・高等学校／探究Driver(探究科主任))

**働きがいと働きやすさを両立する学校づくり**  
妹尾昌俊先生(教育研究家、一般社団法人ライフ&ワーク代表理事)

**校務DX**  
平井聡一郎先生(合同会社未来教育デザイン CEO)  
妹尾昌俊先生(教育研究家、一般社団法人ライフ&ワーク代表理事)

**学びを創造する探究学習の授業づくり**  
酒井 淳平 先生(立命館宇治中学校・高等学校教諭、キャリア教育部長)

**DX・生成AI時代の英語教育を実践するには**  
石井雄隆 先生(千葉大学教育学部・大学院教育学研究科)

**探究×協働ー創造的なPBLを組み立てる理論と実践ー**  
藤原さと先生(一般社団法人こたえのない学校代表理事)

**学校改革論ー私立学校における学校改革構想と推進の要諦ー**  
石川一郎先生(聖ドミニコ学園カリキュラム・マネージャー)  
小野田 一樹先生  
(宇都宮海星学園 星の杜中学校・高等学校校長、  
株式会社 EDUCATION design 代表取締役)

**学校DXが導く学校教育の未来**  
ー変革の方向性と実践の要諦を考察するー  
平井聡一郎先生(合同会社未来教育デザイン CEO)

**子供が自ら創り出す学び**  
難波駿 先生(札幌市公立小学校教諭)

**小学校における探究学習実践の要諦**  
吉金佳能 先生(宝仙学園小学校教諭)

**失敗から学ぶ教育実践論ー学び・実践し続ける先生に必要なことー**  
松下隼司先生(大阪市立豊崎小学校教諭)

# 4. 参加者の声（アンケートより抜粋）

## オンライン

- 現在の学校教育に必要な視点を学ぶことができた。自分たちが求められていること、やらないといけないことが明確に分かった。
- 特に、児童生徒が、どんなことを学び、どういう風に変化・成長したのかを自覚することがとても大切だと感じました。
- 初めて参加しました。子育てもあり中々自分時間を見つけられずに、日頃から考えたり悩んだりしていることについても調べたり、追求することができずにいました。夏休み期間ということもあり、思い切って参加して、様々な先生方のお話を聞いてとても新鮮かつ納得した部分がたくさんありました。特に京都大学と岡山大学の先生のお話は、イメージが持ちやすいただけでなく、さらに深めていきたいと思いました。リアルでの参加はまだ難しい状況ですが、自分の形で参加を続けていきたいと思います。
- 教職を目指す学生ですが、現在どのような教育的な観点があるのか、そこにはどのような研究がなされているのか考えることができました。
- 教育のありかたが急激に移り変わる中で、学校や地域による制限もありますが、出来ることを考え、実践し、教員間の意識をアップデートしていかねばならないと感じました。
- 貴重な情報をいつもありがとうございます。今年も、最先端をいく見方考え方にふれられた思いでいます。ひきつづきこうした取組を継続いただき、小中学校の現場にお力添えをお願いいたします。ありがとうございました。
- 様々な背景が見えてよかったですし、支援する際に役立ちそうなものがたくさんありました。学校へ訪問した際には共有したいと思います。
- 様々な分野や内容の講演が連日行われ、非常に勉強になりました。後日、所属校にて伝達講習を行い、他の教員にも還元していきたいと思えます。
- 教育について、たくさんの新しい知見を学ぶことができました。特にChat GPT, AIをどのように活用していくのかについては、このような場がなければ乗り遅れてしまう分野だなと思いました。コロナ期が助長したICTツールの活用は教育の新しいフェーズに入っていることを実感しました。シンキングツールによる思考の可視化、非認知能力の解像度を上げていくことで、曖昧であった人間の内面、脳内が開拓され、AIにより人の力では及ばない時代となり、教育はどのように変革すべきか考えていきたいなと思いました。
- それぞれのテーマがとても興味深く、それぞれに実践に紐付いたお話が聞けたのがとても勉強になりました。
- 今回初めて本フォーラムを視聴させていただき、様々な視点で教育を考えることができました。授業づくりや研究授業の際に具体的な視点でいつもかんがえていましたが、抽象化してみることで具体的に再度戻すなど、実践してみようと思いました。
- 今回インスタグラムで知り、申し込みをしました。現場では、最先端のことを学ぶ、実践するか検討する、実際に行うという3つのことまでいっていないと感じています。このように学べる機会が存在していることが、ありがたいです。

## 4. 参加者の声（アンケートより抜粋）

### リアル

- 学級経営や働き方改革など、最新の研究知見を元にした講演を聞くことができ、2学期からの大きな示唆を得られた
- 皆さん、中堅やベテラン教師が多かったです。とても優しくグループ活動をさせていただきました。また、最新の教育時事や評価について、ロイノートの使用方法など気になることが学べました。とても有意義な時間を過ごすことができ、感謝しております。ありがとうございました。
- 生成AI、DX、次期CS改訂など、旬な話題に数多く触れた。職場の同僚と活発に議論しながら参加できた点が大変刺激的だった。
- どのプログラムも大変勉強になり、同じ時間で参加できないプログラムがあるのが残念なくらいでした。私自身は教員ではなく、民間の立場で地域教育の取り組みをしているので、学校現場で先生方が考えていらっしゃる、課題に感じていらっしゃることを知れたことが非常に参考になりました。また、多くの出会いがあったことも大変貴重な機会でした。
- 頭がパンクしそうなほどたくさん学ばせていただきました。探究には定まった形はなく、変幻自在であること、企業の力、外の大人の力が教育の中にどんどん入ることで教育がいかに豊かになるか、目の当たりにした気がします。
- 主体的に学ぶとは？圧倒的な情報量でした！論文などの専門的な情報、大学入試から小学校の授業まで網羅された具体例、そしてご自身が研究分析されている学習方法を生徒へ紹介しての実践、大変勉強になりました。
- 新しい知見をたくさん得ることができました。また1人参加でしたが、ワークショップなどで思いが同じ先生に出会うことができました。
- 2日間学ばせていただいて、改めて純粋に教育っていいなあ、教育って大事ななあ、初心を取り戻せた気持ちにさせていただけました。ありがとうございました。
- 誰のための教育なのかということを考えさせられました。子どもが幸せになるためにどうしたら良いのかを考えながら学校にて、子どもたちと関わって行きたいと思います。
- 各プログラム、学びがありました。よいアップデートができました。参加者との話もよかったです。ゆったりしたプログラム構成が過ごしやすかったです。
- 教育に対して、教職に対してマイナスなイメージばかりがクローズアップされる今、未来を見据えるということで前向きに捉えられるようになりました。また、同じような志の方、ロールモデルとして少し先を歩まれている方に出会えたことも良かったです。
- シュタイナー教育のワークショップを受講し、子供の個性を把握し尊重しながら、秩序や道徳心を育てる内容がとても新鮮で面白かったです。